



トライアル

令和元年10月31日(木)
四季が丘小学校 研究推進便り

10/25(金)に、広島県教育委員会義務教育指導課の谷崎栄子指導主事、廿日市市教育委員会の福島千恵子指導主事をお迎えし、学力フォローアップ校事業第3回授業研究会が行われました。

第4学年の算数科「面積」の授業を提案しました。梶山先生の授業のテンポのよい発問や指示により、子どもたちは主体的に学習に向かうことができていました。

導入の短さも見事でした。それは、今日の授業の位置付けが子どもたちと梶山先生とで共有できていたからこそだというお話がありました。単元をつくる際には、教科の本質と身に付けさせたい資質・能力、また主体的・対話的で深い学びを促すとともに、課題のある児童への手立てや支援についてを児童の実態から丁寧に考えて授業に取り入れることの大切さを再確認できました。

今回の研修での学びを、前回の成果と課題を受けた今後の取組につないで整理しました。さらなる共通理解を図り、日々の授業改善と第4回の授業研究会につないでいきたいと思えます。



前回の研修を受け設定した内容	第3回授業研究会での成果と課題	今後に向けて
<ul style="list-style-type: none"> ○個別の指導計画には、対象児童を多面的に見取った記述を行う(学習・生活・行事・保護者連携等)。 ○学習指導案は、教科に特化する。(様式を一部変更する予定) ○学習指導要領解説をヒントに要因分析を考えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○つまずきの要因分析が充実した。児童の実態が明確にわかるとともにプレテストの結果からつまずいている分野を把握でき、支援や手立てにつなぐことができた。 ○個別の指導計画は実態・取組・今後に向けた課題のつながりが見えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○算数科のつまずきの要因分析の方法は明確になってきた。実態把握や国語科についての取組を全体のものにしていけるようにする。 ○漢字の誤り分析は継続して行う。
<ul style="list-style-type: none"> ○担任、通級担当、F U 教員、研究推進教員がF U 対象児童への気づきを確実にファイルに残す(メモ程度でOK)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担任、通級担当、司書教諭、F U 教員、研究推進教員、管理職がしっかりと連携することができたからこそ、学校の取組を家庭につなぐことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織的な連携を今後も充実させていく。家庭への連携も定期的に行う。
<ul style="list-style-type: none"> ○手立てや声かけは成果のあったものもそうでなかったものもできれば代案を添えて残す。 ○ねらいに応じた手立てをしぼりこんでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ヒントカードや話型カードが効果的であった。 ○対象児童の学びの過程に沿った適切な支援について考えていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○F U 対象児童・配慮の必要な児童がどこで何につまずいているのかという学びの過程を丁寧に見取り、困難さの状態に対する支援ができるように、要因分析から予想される児童のつまずきとその手立てを想定しておく。
<ul style="list-style-type: none"> ○指導事項はつまずきの要因分析とのつながりを考えて設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時では、思考力・判断力・表現力の育成をめざし、説明することを大切にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時は「オ 考えの形成」を指導事項として設定した。

「研修の振り返り」より

- F U対象児童，配慮の必要な児童のつまずきを把握し，日々の授業に参加できるように手立てを考えていきたいです。
- 細やかな手立ての連続が，今日の授業なのだと思います。
クラスのあたたかい雰囲気も素敵だし，子どもたちの笑顔も印象的でした。明日から取り組むことは「説明力をつける」です。算数用語や既習事項をもとに論理的に自分の考えを説明させることを目標にがんばります。
- 授業規律が素晴らしいと思いました。例えば，めあてを書き終わったら。鉛筆を置いて正しい姿勢をして待つことや指示に対する返事，発表者がみんなの方を向いて発表する，1つの方法を考え終わったら他の方法を考えるなど，学ぶ姿勢を自分のクラスでも取り組んでいきたいと思いました。
- F U児童へのどんな支援やどんな内容の予習が必要かを考え，組織的に連携しながら指導していきたいです。
- つまずきを確実に把握するために既習事項の確認をプレテストや朝学などで行います。説明する時には「ここ」など指示語ではなく算数用語を使って説明させていきます。



- 第4回の学力フォローアップ校事業授業研究会は11/22（金）に3年2組で行います。
国語科「ほけんだよりを読み比べよう」の単元で提案します。
当日や模擬授業の日程は，後日お知らせします。



前回の模擬授業では，教頭先生から発問や板書をはじめ，算数科で育てたい資質・能力等多くのことを教えていただきました！

- 児童アンケートについて
11月中に今年度2回目の研究に係る児童アンケートを行います。
用紙とファイルをお配りしますので11/15（金）までに提出をお願いします。



- 授業改善振り返りシートについて
1学期に記入していただいた授業改善振り返りシート等の加筆をお願いします。クリアファイルに入れてお返ししますので，ファイルごと提出してください。締め切りは11/29（金）です。

- 廿日市市学力定着状況調査に向けて
令和2年1月10日（金）に，廿日市市学力定着状況調査が実施されます。
2学期までの学習内容についての復習を今学期中に計画的に行います。学級の実態を把握し，課題のある単元については朝学やチャレンジノートを活用して確実な理解につなげます。
日頃のチャレンジノートの掲示も行う予定です。

- 11/14（木）は四季が丘中学校区合同授業研究会です。
授業は，13：40からです。卒業生のがんばりが楽しみですね。

